

開発教育協会 2025年度事業報告 ダイジェスト

2025年度事業報告

1. With DEAR 2025

109件、総額985,550円の寄付を達成。
3つのオンライン講座に86名が参加。

2. 時事問題教材

時事教材 Global Express を2つ発行。
231件のダウンロードあり。

3. 気候変動教材

「気候変動対策と開発教育（仮）」を
作成中。フィリピン調査内容を反映。

4. d-lab 2025

「会員のための会員による d-lab」を
実施し、全国から130名が参加。

2022年～26年度 中期重点方針

5か年の中期重点方針として以下の2つを掲げており、各種事業の中で取り組んでいます。2025年度は、4年目の年となりました。

2つの重点方針

1. 開発課題をわたしたちの課題として捉え考える
市民性・公共性の追求
2. 教育者中心から学習者中心の教育への教育観の転換に向かう

| 2022年～26年度 5つの重点事業

5つの重点事業

1. 開発課題（ジェンダー・貧困など）と開発教育に関する研究会の実施
2. 成人教育・社会教育としての開発教育の推進
3. 開発教育ファシリテーション（対話）の再考・議論の促進
4. 教育政策に関する調査・ネットワークづくり
5. 組織基盤強化

| 2022年～26年度 5つの重点事業

残された課題

財政基盤の立て直しにはまだ時間がかかる

→ 組織基盤強化のために協力者を拡大していくことが重要

2025年度各種事業報告

- 概ね事業計画通りに各種事業を実施することができた
- あらゆる人々が安心して参加するための学びの場づくりを進めている
(例：視覚障害を持つ会員への会報・機関誌テキストデータ送付)

6つの事業領域

I. ネットワーク事業

II. 実践・研究事業

III. 情報・出版事業

IV. 人材育成事業

V. 政策提言事業

VI. その他の事業

1. ネットワーク事業

1) 国内ネットワーク事業

ALEプロジェクトで発刊したハンドブックを活用したワークショップを下記3地域で実施。地域の課題を深掘りし、地域社会をどう「開発」するのか考えた。

- ① 山形県山形市（2025年4月）
- ② 新潟県長岡市（2025年9月）
- ③ 秋田県秋田市（2026年2月）



1. ネットワーク事業

2) 海外ネットワーク事業

① ASPBAEとの協働

・アジア南太平洋基礎・成人教育協会（ASPBAE／アスベ）の団体会員として、成人教育等に関する情報共有。

② ANGELプロジェクトへの協力

・ANGEL（Academic Network on Global Education & Learning）主催のウェビナーに協力（事務局長 中村）。

③ Bridge47との情報交流・協働

・SDG4.7を推進するグローバルネットワーク

「Bridge47」との意見交換や連携（事務局次長 伊藤）。



伊藤職員がNGOスタディ・プログラムに参加

II. 実践・研究事業

1) 開発教育研究会

「SDGs と開発教育研究」部会として、
d-lab2025にて「『社会変容をめざした SDGs 学習：『持続可能な未来を実現するための学び』をどうつくる？どう深める？』と題して分科会を実施。教員やNPOスタッフを中心に 31 名が参加し、意見交換を通じて新たな視点やSDGsの本質について参加者と考える時間となった。



II. 実践・研究事業

2) 機関誌『開発教育』の編集発行

- 機関誌『開発教育』第72号を発行した。特集は「分断社会における開発教育の役割」とし、理論と実践の両面から分断に向き合う多様な論考を収録した。
- 自由に語り合う「機関誌オンラインカフェ」を開催し、特集執筆者を招きながら、各論文の感想や気づきを共有した。



II. 実践・研究事業

3) d-lab2025（第43回開発教育全国研究集会）の開催

- 「会員のための会員によるd-lab」として、これまで2日間開催していた日程を1日とし、自主ラウンドテーブルと実践研究・報告（全18プログラム）、分科会（5コマ）を中心に実施。
- 全国各地から130名程（スタッフや関係者含む）の参加があった。



III. 情報・出版事業

1) 新規教材図書の企画編集と制作発行

① 【作成中】 『気候変動対策と開発』 教材

FoEJapan の協力と近藤牧子（理事・職員）による科学研究費の助成から、フィリピン現地調査を実施。

② Global Express 教材の発行

- ・ 第24号 参院選（7月10日公開） DL162件
- ・ 第25号 イランへの攻撃（3月25日公開） DL69件

③ 『改訂版 豊かさと開発～サステナビリティやダイバーシ

ティから考える』（3月28日発行）



III. 情報・出版事業

2) 出版物販売

👑書籍売り上げ年間ベスト5👑

- 1 『ワークショップ版世界がもし100人の村だったら』 第7版 (517冊)
- 2 『新・貿易ゲーム 経済のグローバル化を考える』 (227冊)
- 3 『スマホから考える世界・わたし・SDGs [改訂版] 』 (80冊)
- 4 『ソーシャル・アクションハンドブック』 (79冊)
- 5 『開発教育実践ハンドブック』 (73冊)

1年間の売上冊数

2,033

III. 情報・出版事業

2) 出版物販売

「Take Action トートバック」の販売

機関誌「開発教育」の表紙イラストを活用し、フェアトレード専門ブランド・ピープルツリーの協力を得て、フェアトレード&オーガニックコットンのトートバックを作成。3月の「まなびDEフェスタ」で販売を開始した。

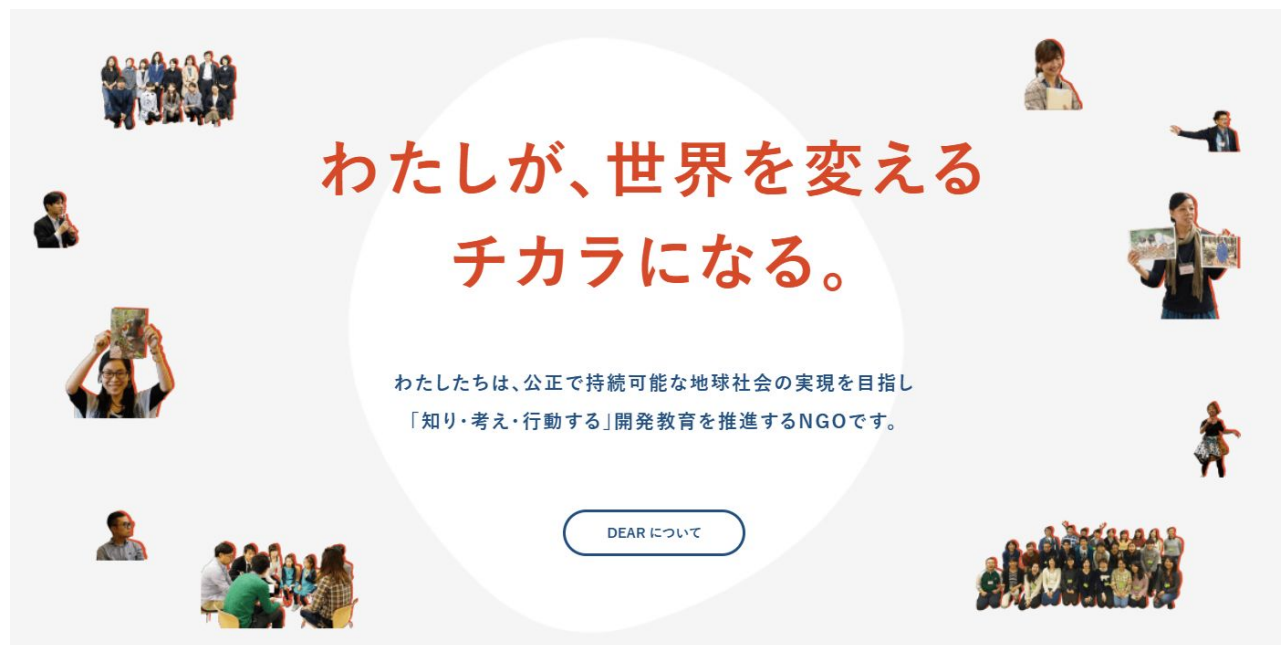


会員の皆様の投票で決定!
機関紙71号の表紙デザイン

III. 情報・出版事業

3) 広報資料作成

- ① ウェブサイトの運営
- ② メールマガジンの発行
- ③ Facebook ページの運営
- ④ Instagramの運営
- ⑤ X (旧Twitter) の運営
- ⑥ noteの運営
- ⑦ PR TIMESの利用



IV. 人材育成事業

1) 講師派遣事業

- 依頼元：学校、大学、NGO、JICAなど
- テーマ：ALE、気候変動、多文化共生など
- DEARの役職員を計37件80回派遣
- のべ参加者は約2,500名

2) 各種講座

- 開発教育入門講座（オンライン／計6回40名参加）
- 開発教育ワークショップ（東京、大阪、オンライン／計3回37名参加）



IV. 人材育成事業

3) まなびDEフェスタ (旧・教材フェスタ)

計6種類のワークショップを実施したほか、物販・相談ブースやミニセッションを展開。学生から専門家まで、関係者を含め約80名の参加を得た。



4) おうちDE開発教育 (プロジェクトチーム)

自由に語り合う「子育てカフェ」とd-lab分科会を実施した。のべ14名参加。

- ①第1回子育てカフェ「子どもの人権」
- ②第2回子育てカフェ「選挙と子育て」
- ③d-lab2025分科会

V.政策提言事業

1) 行政に対する政策提言

① 国際協力政策・援助政策に対する政策提言

SDGs 市民社会ネットワークの教育ユニットの世話人

② 教育行政・教育政策に関する政策提言

ESD 活動支援センターの企画運営委員

③ 成人教育・社会教育政策に関する政策提言

ユネスコの成人学習・教育の第6次調査（GRALE）の
日本政府回答の照会および提言作成

V.政策提言事業

2) キャンペーンへの協力

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE) 主催「SDG4教育キャンペーン 2025」
への広報協力 (期間：2025年3月1日～5月23日)



- 各政党に対し国内と国際的教育政策に関するアンケートを実施し、政党名を伏せた状態でWebサイトに公開。
- 政党アンケート結果を受けてのオンライン投票には、5,100名の市民が参加。

VI. その他の事業

1) 受託事業

① **CINGA（国際活動市民中心）**

反差別に向けた多文化共生プロジェクトのコンサルテーション、
反差別に向けたアクティビティ作成および試行実施

② **聖心グローバルプラザ内「BE＊hive」**

ワークショップの実施（全13回、約250名参加）

③ **國學院大学 SDGs講座企画運営**

SDGsに関する授業案の提供と実施、ファシリテーター研修の実施

VI. その他の事業

2) 外部団体との共催・協力事業

① 2025年度開発教育・国際教育セミナー（主管：DEAR大阪）

大阪国際交流センター、国際協力機構関西国際センターが共催する
開発教育に関する基礎的理解を目指すセミナーの企画・開催協力

② ESD活動支援センター運営委員

佐藤友紀代表理事が会議等に参加

組織運営に関する報告

1. 会報「DEAR ニュース」の編集発行

- 年3回（6・9・3月）PDFで発行
- DEAR News を読む会を3回開催

2. サポーターの募集

2014年12月よりサポーター会員（年4,000円以上の定額寄付者）を募集

3. With DEAR 2026（DEAR応援企画）

- 寄付件数109件、総額985,500円
- 3つの講座を開催（計86名参加）

4. 「DEAR members」の発信

会員限定のメール「DEAR members」を3回（4・5・12月）発行

2026年3月末現在の会員数（カッコ内は昨年度比）

個人会員

正会員

305

+

賛助会員

186

計

491

(-47名)

団体会員

正会員

17

+

賛助会員

16

計

33

(-3団体)

2025年度 助成金・寄付金

1. 助成金

- 国際協力システム（JICS） 200,000円
- 外務省NGOスタディ・プログラム
576,649円

2. 一般寄付金

- 個人・団体187件 / 1,168,293円
※うち「クラウド・ファンディング」
109件 / 985,500円

3. 特別寄付金

- 個人会員〔匿名〕 10,000,000円

4. DEARサポーター

- 個人51名（274,000円）

温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました

各種委員会、プロジェクトチーム、ボランティア

7の委員会、研究会、プロジェクトチーム、またDEARのイベント等に、のべ約120人の方々がボランティアで関わっていただきました。

＼DEARの活動を支えてくださり、ありがとうございます！／

